

登録コード	L2620100	開講年度	2026				
担当教員	渡邊 匡一			副担当			
授業科目	日本文学概論						
英文授業名	Japanese Literature: Introduction						
授業タイトル	日本文学概論						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	木曜・6時限
講義室	人文第4講義室	遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。 【思索力・受容力・批判力】			多様な日本文学研究の方法や、その変遷について学ぶことで、 思索力・受容力・批判力を養います。			
授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	主として日本の近代を視野に言語、文化について取り上げながら、多様な文学研究の方法や、その変遷についての概説を行います。様々な研究方法の可能性を探るとともに、現在の研究動向についても分析する予定です。						
授業計画	第1回：文学研究とは何か - 日本で一番良い本は？ - 第2回：文学研究の目的とは - 作品評価は研究か？ - 第3回：文学研究の対象(1) - 本は自分で選べるのか？ - 第4回：文学研究の対象(2) - 旧制松本高校寮生日記 - 第5回：文学研究の対象(3) - 御嶽神社祝詞 - 第6回：文学研究の対象(4) - 山岳図書 - 第7回：文学研究の対象(5) - 文学と絵画 絵巻の技法と種類 - 第8回：文学研究の対象(6) - 文学と絵画 絵巻の技法と種類 - 第9回：文学研究の対象(7) - 『吉備大臣入唐絵巻』を読む - 第10回：文学研究の対象(8) - 狂言 狂言の世界 - 第11回：文学研究の対象(9) - 狂言 「未広がり」から記憶と記録について考える - 第12回：文学研究の意義(1) - 「稚児の空寝」は、教材としてふさわしいか - 第13回：文学研究の意義(2) - 江戸しぐさなるものの問題 - 第14回：文学研究の歴史(1) - 明治時代以前 - 第15回：文学研究の歴史(2) - 明治時代以後 -						
成績評価の方法	レポート(期末80%)、リアクションペーパー(20%)で評価します。						
成績評価の基準	以下の基準を総合して、『卓越している』/『かなり上にある』/『やや上にある』/『その水準にある』を判断します。 リアクションペーパー： 講義内容の理解、 に即した考察。 レポート： 質疑等で指摘された問題点や課題を取り込むこと。 担当話の中に出てくる語句を様々な辞書や書物を用いて調べあげていること。 調べたものを適切な表現で説明できていること。 考察の目的・方法が適当であること。 考察の結論に至る論理が適当であること。						
事前事後学習の内容	授業進度にあわせてとりあげる資料に目を通した上で授業にのぞみ、授業後には、講義中に提示された論文などを読んで理解を深めつつ、レポート執筆の準備を進めてください。						
履修上の注意	毎時間、講義の終わりに意見・質問や感想を書いてもらいます(リアクションペーパー)。質問については次の講義で確認、補足を行います。						
質問、相談への対応	水曜日12:10～13:00をオフィスアワーとします。事前にメール等で連絡してください。						
教科書	授業中にプリントを配布します。						
参考書	授業中に指示します。						